

経営比較分析表（平成29年度決算）

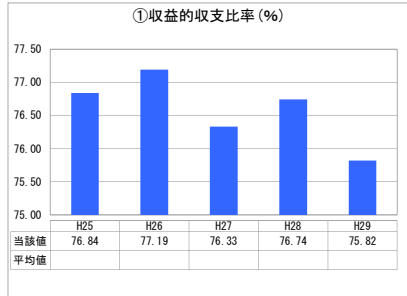
高知県 高知市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金 (円)
-	該当数値なし	1.25	82.86	2,548

人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
332,276	309.00	1,075.33
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km ²)	処理区域内人口密度 (人/km ²)
4,111	6.30	652.54

グラフ凡例
■ 当該団体値 (当該値)
— 類似団体平均値 (平均値)
【】 平成29年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



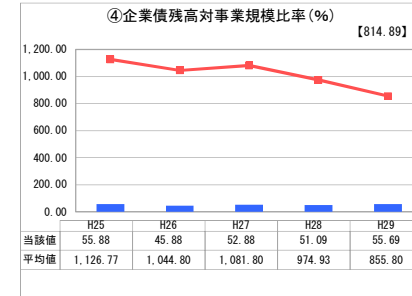
「単年度の収支」



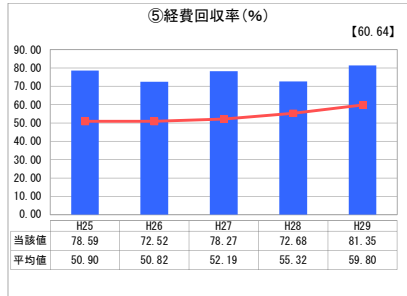
「累積欠損」



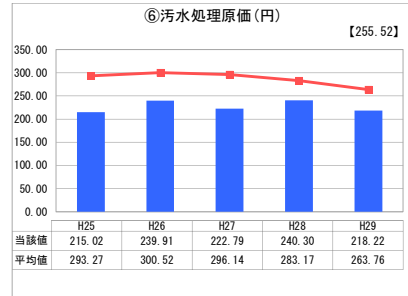
「支払能力」



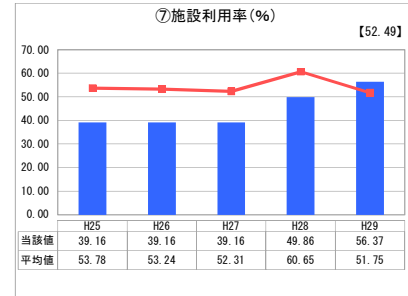
「債務残高」



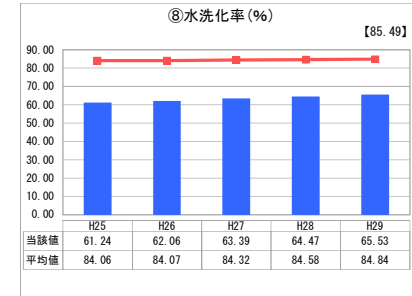
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

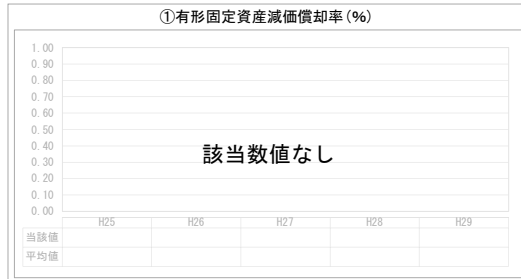


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

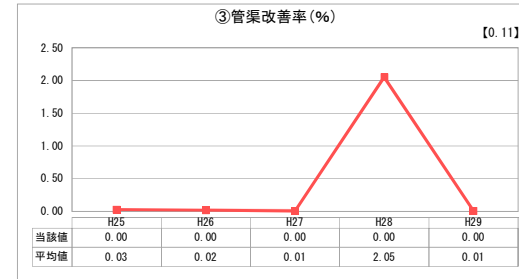
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

平成28年度に比べて、経費回収率は若干上昇、汚水処理原価は若干低下しており、いずれも全国の類似団体平均よりも良好な水準を維持できている。しかしながら、経費回収率が100%を下回っていることから使用料で賄うべき経費を賄っていない状況が続いており、経営収支の均衡は一般会計からの繰入れに依存している。

また、水洗化率は上昇傾向にあるが、依然として類似団体平均を下回っている。一方で、施設利用率率は平成28年度に比べて約7%上昇し、類似団体平均を上回った。

平成31年度より使用料を改定するため、収益的収支比率及び経費回収率は一定上昇することが見込まれるが、今後も施設の更新に伴うコスト増や処理区の人口減少などによる経営状況の悪化が見込まれることから、引き続き、経営基盤の安定に直結する水洗化率の向上にむけた普及促進と更なる経費節減の取組みを継続・強化していく。

2. 老朽化の状況について

平成27年度から28年度にかけて実施した農業集落排水処理施設の機能診断結果などを踏まえ、機械設備や各処理施設の更新時期等を示した、最適整備構想を平成29年度に作成したところである。

この最適整備構想に基づく機能強化（更新）工事を平成32年度より開始し、以後計画的に老朽化施設の更新等を実施していく。

全体総括

平成31年度からの使用料改定により一定の収益改善が見込まれるものの、人口減少や節水意識の定着等による有収水量の減少に伴う収益の減少・圧縮が見込まれるなど、農業集落排水事業の厳しい経営環境が継続することに変わりはなく、こうしたなか、老朽化した施設等の更新工事を平成32年度から実施する予定である。

今後も長期的に安定した公共サービスを提供し続けるために、引き続き、維持管理コストの節減と普及促進活動の継続・強化による水洗化率の向上などの収益向上の取組みを実施していく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。